

2026 年 9 月



FDI AGENDA



投資・財務局からのメッセージ

8 月は、戦略的パートナーシップ、先端製造、金融サービス、輸出、インフラ、国際的な関与に及ぶ主要な進展とともに、トルコの経済および投資アジェンダの広範さを反映しました。

この月の主要な進展は、トルコ、サウジアラビア、パキスタンによるメッカ共同防衛協定の署名でした。メッカのアル・サファ宮殿での三者首脳会談において、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領、サウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマン皇太子兼首相、パキスタンのシェバズ・シャリフ首相によって署名されたこの協定は、安全保障および防衛協力を促進し、両国の長年にわたる戦略的パートナーシップをさらに強化するための三者枠組みを確立しました。

トルコの製造能力も、コジャエリの現代自動車イズミット工場でのヒョンデ IONIQ 3 の量産開始により注目を集めました。



トルコ、サウジアラビア、パキスタンがメッカ共同防衛協定で戦略的協力を深化

トルコ、サウジアラビア、パキスタンはメッカ共同防衛協定に署名し、安全保障と防衛協力を強化するための三者間枠組みを確立するとともに、長期的な戦略的パートナーシップを強化しました。この協定は、メッカのアル・サファ宮殿で開催された三者首脳会談において、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領、サウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマン皇太子兼首相、パキスタンのシェバズ・シャリフ首相によって署名されました。

この協定は、3カ国間の長年にわたる政治的、経済的、防衛的関係を基盤として、協力関係を制度化する上での重要な節目となるものです。これは、集団安全保障、防衛産業、軍事訓練、情報共有における緊密な調整を通じて地域の安定を強化し、同時に新たな地域的課題に対する調整された対応を促進することを目的としています。

共同宣言によると、このパートナーシップは、共通の戦略的利益、相互信頼、そして中東および南アジア全域の平和と安定に対する共通のビジョンに基づいています。この枠組みはまた、防衛技術開発、共同生産イニシアチブ、物流、能力構築におけるより深い協力を奨励し、参加国間での産業的および技術的協力のための新たな機会を創出するものです。

トルコにとって、この協定は、高度な防衛製造能力、成長するイノベーションエコシステム、そして拡大する国際的パートナーシップを通じて、ヨーロッパ、中東、アジアを結ぶ戦略的パートナーとしての

地位をさらに強化するものです。トルコの国際競争力のある防衛産業は、高付加価値の工業生産と技術輸出のますます重要な柱となっており、安全保障面での協力と並んで経済協力にも寄与しています。防衛面を超えて、メッカ共同防衛協定は、安全保障の地域的オーナーシップと持続可能な制度的協力へのより広範なコミットメントを反映しています。トルコの技術的専門知識と軍事能力、サウジアラビアの戦略的・経済的強み、そしてパキスタンの広範な防衛経験を結集させることで、この三者間イニシアチブは、長期的な地政学のおよび経済的重要性を伴う、より統合された戦略的協力の枠組みの基礎を築くものです。



シムシェキ大臣、トルコの年間観光収入 652 億米ドルを強調

逆風となる地政学的展開にもかかわらず、トルコの年間観光収入は 2026 年第 2 四半期に 652 億米ドルを維持し、2025 年に記録された水準を維持したと、メフメト・シムシェキ財務大臣は述べました。最新の観光統計についてコメントしたシムシェキ大臣は、第 2 四半期の訪問者数は限定的な減少となったものの、訪問者 1 人当たりの平均支出は前年比で増加したと指摘しました。同大臣は、この実績がサービス輸出チャネルを通じて、地政学的緊張が経常収支に与える悪影響を抑制するのに寄与したと述べました。

トルコの年間観光収入は近年、力強い上昇軌道を維持しており、2022 年の 502 億米ドルから 2023 年には 564 億米ドル、2024 年には 611 億米ドルへと増加しました。観光収入は 2025 年に 652 億米ドルに達し、2026 年第 2 四半期も同水準を維持しました。

訪問者数も同期間に着実に増加しており、2022 年の 5,140 万人から 2023 年には 5,710 万人、2024 年には 6,220 万人、2025 年には 6,390 万人へと増加しました。2026 年第 2 四半期の年間訪問者数は 6,320 万人となり、前年と比較して限定的な減少となりました。

同時に、訪問者 1 人当たりの平均支出は引き続き堅調に推移しました。1 人当たりの平均支出額は、2022 年に 971 米ドル、2023 年に 979 米ドル、2024 年に 972 米ドルとなり、2025 年には 1,008 米ドルに増加しました。2026 年第 2 四半期には、平均支出額は 1,018 米ドルに達し、同期間で最高水準を記録しました。

シムシェキ大臣は、回復力のある観光収入と 1 人当たりの支出増加の組み合わせが、地政学的な動向が経常収支に与える影響を抑えるのに寄与したと述べました。大臣は、トルコの経済プログラムを通じて達成された構造改革が、経常収支を持続可能な水準で支えることが期待されると付け加えました。地政学的な緊張が観光セクターに与える影響を緩和するため、トルコは一連の支援策を導入しました。

シムシェキ大臣は、宿泊税が 2 パーセントから 1 パーセントに引き下げられたことに言及しました。観光支援パッケージに基づき、財務省の保証付きで、600 億トルコリラの追加融資枠が同セクターに提供されました。

シムシェキ大臣は、トルコは観光セクターの競争力を強化し、年間を通じて観光活動を拡大することを目的とした政策を継続すると述べました。また、政府は医療、会議、文化、スポーツ観光を含む、高付加価値の観光セグメントを引き続き支援していくと付け加えました。



ヒョンデ IONIQ 3 がコジャエリの生産ラインから出荷開始

ヒョンデの IONIQ 3 量産開始式典がコジャエリのイズミット工場で開催され、トルコの次世代自動車製造の歩みにおける重要な節目となりました。式典には、メフメト・ファティ・カジユル産業技術大臣、ブ・ソクジョン駐アンカラ韓国大使、キバル・ホールディングのアリ・キバル会長、その他自動車業界や経済界の代表者が出席しました。

カジユル大臣は式典での挨拶の中で、世界の自動車産業におけるトルコの役割が高まっていることを強調しました。カジユル大臣は立ち上げに際し、イズミット工場では第 1 段階として 2 億 5,000 万ユーロの投資により、年間 3 万台の IONIQ 3 を生産する予定であると述べました。また、欧州のバリューチェーンにおける最も重要なプレーヤーの一つとして、トルコは次世代自動車技術における地位を強化し続けると付け加えました。

ブ・ソクジョン駐アンカラ韓国大使は、今回の立ち上げを二国間の経済協力における戦略的に重要な節目であると評し、トルコの確立されたインフラと熟練した人的資本が、高度な製造業にとって傑出した目的地となっていることを強調しました。ブ大使はさらに、韓国とトルコは信頼できる経済パートナーという関係を超え、未来のハイテク分野における共同リーダーへと発展したと述べました。

キバル・ホールディングのアリ・キバル会長は、リスクを効果的に管理し、生産を維持し、信頼できる市場アクセスを提供する国々に、世界の資本がますます向かっていると強調しました。同会長は、主要な物流およびエネルギー回廊の結節点というトルコの戦略的な位置付けが、地政学的な不確実性が高まる時代において、生産およびサプライチェーンの自然な拠点となっていると指摘しました。

トルコが製造とイノベーションの結節点としての地位を強化し続ける中、同国は高付加価値で未来志向の投資における、この地域で最も重要な原動力としての立場を再確認しています。





トルコの自由貿易地域、2026 年最初の 7 か月間で 77 億米ドルの輸出新記録を達成

トルコの自由貿易地域は、輸出志向型の生産および貿易拠点としての役割を強化し続け、2026 年の最初の 7 か月間で前年比 6.9% 増となる 77 億米ドルの輸出新記録を達成しました。

貿易省が発表したデータによると、トルコの 19 の自由貿易地域からの輸出は 7 月だけで 11 億 5,000 万米ドルに達し、前年比 11.3% の増加を記録しました。1 月から 7 月の期間中、自由貿易地域で生み出された総売上高のうち輸出が占める割合は 76.8% で、1 年の最初の 7 か月間としては過去最高のシェアとなりました。

今年最初の 7 か月間、トルコの自由貿易地域からの総輸出額のうち、中高技術製品および高技術製品が 57.4% を占めました。中高技術製品が輸出の 50.4% を占め、高技術製品が 7% を占めました。

技術集約型製品の高いシェアは、トルコの付加価値の高い生産および輸出エコシステムに対する自由貿易地域の貢献の高まりを浮き彫りにしており、より技術主導型で競争力のある輸出への同国の移行を支援しています。

エーゲ海自由貿易地域は、1 月から 7 月の期間に 19 億 6,000 万米ドルを創出し、トルコの自由貿易地域の中で輸出をリードし、次いでブルサ自由貿易地域が 12 億 1,000 万米ドルとなりました。ブルサ自由貿易地域からの輸出は前年比 32.7% 増加しました。

アンタルヤ自由貿易地域は主要地域の中で最高の成長を記録し、輸出額は前年比 40.2% 増の 4 億 4,700 万米ドルとなりました。アダナ・ユムルタルク自由貿易地域からの輸出も 32.3% 増の 3 億 4,100 万米ドルとなりました。

全体として、6 つの自由貿易地域が 2026 年の最初の 7 か月間に 10% を超える輸出成長を記録し、トルコの輸出志向型生産拠点の回復力と競争力をさらに実証しました。

2026 年 7 月現在、トルコの自由貿易地域には外国資本の 474 社を含む 1,934 社が拠点を置き、87,655 人の雇用を提供しています。

戦略的な立地、輸出志向型のインフラ、投資優遇措置、そして地域および世界市場へのアクセスにより、トルコの自由貿易地域は、トルコでの生産および貿易事業の確立を目指す国際的な投資家にとって競争力のあるプラットフォームを提供し続けています。

トルコが「トルコの世紀」を推進する中、その自由貿易地域は、より高い付加価値を持つ生産、より強力な輸出能力、そしてグローバル・バリューチェーンへのより深い統合を支援し、同国の「貿易の世紀」の戦略的推進力として台頭しています。技術集約型輸出および国際貿易への貢献の高まりは、投資、生産、貿易の原動力としてのトルコの地位をさらに強化しています。



ボスポラス外交フォーラム、世界外交におけるトルコの役割を強調

第2回ボスポラス外交フォーラム2026（BDF'26）は、「民主主義と自由の島」に50人の国際代表を含む400人以上の参加者を集めました。

青年外交協会（GDD）が「危機の時代における人道的外交」をテーマに開催したこのフォーラムでは、4か国語で6つの委員会が実施され、外交政策からエネルギーに至るまでの地球規模の課題に取り組みました。

イリム・ヤイマ財団理事長のネジュメッティン・ビラル・エルドアン氏が、教育外交に関するパネルディスカッションでフォーラムの開会を宣言しました。エルドアン大統領は、トルコが約35万人の留学生を受け入れていることに触れ、彼らを世界舞台でトルコを正確に代表する親善大使であると評しました。

AIと経済に関するパネルディスカッションにおいて、投資・財務局のA・ブラク・ダールオール局長は、AI投資が世界外交の決定的な要素となっていると述べました。ダールオール局長は、データセンターやエネルギーインフラからチップ、エンドユーザー向けアプリケーションに至るまで、AI投資の多層的な性質について概説し、これらが一体となって世界の投資フローを形成していると述べました。

一方、TurkcellのCEOであるアリ・タハ・コチ氏は、AIの経済的潜在能力を最大限に発揮するには、エネルギー、計算能力、データセンター、メモリ、AIチップにまたがる強固なエコシステムが必要であり、最終的に最大の価値はアプリケーション層で生まれ、オープンソースモデルがイノベーションの重要な道筋を提供すると述べました。コチ氏はまた、東西間の技術的能力のバランスをとることの重要性を強調し、開発者に対し、イノベーションを推進するためにオープンソースのAIモデルを活用するよう奨励しました。

このフォーラムは、外交、技術、教育の交差点におけるトルコの役割の増大を再確認し、同国を世界の結節点として位置づけました。





イスタンブール金融センターに集結するトルコのベンチャーキャピタル・エコシステム

「トルコのベンチャーキャピタル・エコシステム：ポートフォリオ運用会社会議」が、投資・財務局とトルコ資本市場委員会（CMBトルコ）の共催でイスタンブール金融センターで開催され、主要なポートフォリオ運用会社の幹部やエコシステム全体の主要なステークホルダーが一堂に会しました。

トルコ資本市場委員会（CMB）のマフムト・スチュ会長の参加のもと、投資・財務局のA・ブラク・ダールオール局長が議長を務めたこの会議は、トルコの起業環境の現状と将来の展望について意見を交換し、トルコのベンチャーキャピタル・エコシステムの健全な発展と効果的な機能を確保するための政策的優先事項を議論する戦略的プラットフォームとなりました。

投資・財務局は今後も、連携を促進し、起業エコシステムの成長を支援し、イノベーションと投資の地域的拠点としてのトルコの地位をさらに強化する戦略的な集まりを招集していきます。





TercihFest' 26 でトルコの次世代に力を

イブン・ハルドゥーン大学が開催した、トルコ初かつ唯一の大学志望者向けプログラムである TercihFest' 26 は、再びトルコの未来を担う人材と著名な講演者を引き合わせ、参加者に未来を形作るアイデアについての直接的な洞察を提供しました。

最終日の開会挨拶で、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール局長は、AI から地政学的力学の変化に至るまで、深刻な世界的変革を理解し、急速に変化する世界で成功するために必要なスキル、視点、ビジョンを身につけさせてくれる大学を選ぶよう参加者を激励しました。

「トルコの世紀」を振り返り、ダールオール局長は、真のグローバルアクターとなるためのトルコの歩みは、未来を形作るために必要なビジョン、能力、そして強い帰属意識を持つ世代によって推進されるだろうと強調しました。

人材の結節点として、トルコは最大の資産である若者への投資を継続し、次世代がイノベーション、競争力、持続可能な成長を推進できるよう力を与えています。





世界フィンテック・デーで脚光を浴びるトルコのフィンテック・エコシステム

世界フィンテック・デーは、イスタンブールでトルコ・フィンテック協会によって祝われ、世界のフィンテック・エコシステムの主要な代表者が集まりました。

投資・財務局のフルカン・カラヤカ副局長が、トルコ・フィンテック協会のクタイ・ヤルンクルンチ会長と共に基調講演を行いました。

カラヤカ副局長は演説の中で、世界で最も先進的なデジタル決済市場の一つへと変貌を遂げたトルコの急速な転換を強調しました。

「わずか4年で、トルコはアクティブなデジタルバンキングの顧客口座数を7,500万から1億2,500万以上に拡大しました。モバイルバンキングだけでも、現在数兆トルコリラが処理されています。そして、新しい世代の認可を受けたデジタル銀行が、物理的な支店を一つも持たずに当社の市場で競争しています」とカラヤカ副局長は述べました。

イベントでは、2つのパネルセッションも行われました。最初のセッションはGülçin Aytemizel Telatar氏がモデレーターを務め、ThunesのシニアバイスプレジデントであるAbigail Slater氏を迎え、クロスボーダー決済の未来についての洞察が共有されました。

Şebnem Elif Kocaoğlu Ulbrich氏(LL.M.)がモデレーターを務めた2回目のパネルセッションには、Greenbananaの創設パートナーであるCihan Tüzün氏が登壇しました。





Yapı Kredi と Azimut が 164 億トルコリラの取引で提携、トルコ最大の民間資産運用会社を創設

Yapı ve Kredi Bankası (Yapı Kredi) は、イタリアの資産・ウェルスマネジメント企業 Azimut Group の子会社である AZ International Holdings SA (AZ Holdings) との間で、Yapı Kredi Portföy Yönetimi A.Ş. (Yapı Kredi Portföy) の株式譲渡に関する株式売買契約を締結したと発表しました。

本契約に基づき、Yapı Kredi Yatırım Menkul Değerler A.Ş. は、同社が保有する 87.32 パーセントの株式を、Yapı Kredi が直接保有する 12.65 パーセントの株式および他の少数株主が保有する株式とともに、通常のクローリング調整を条件として、総額 163 億 9,200 万トルコリラ（3 億 4,600 万米ドル）で AZ Holdings に譲渡します。

株式譲渡に加え、両当事者は 15 年間の戦略的販売プロトコルを締結しました。これにより、通常の例外を除き、トルコ国内の広範な銀行販売ネットワークを通じて、Yapı Kredi Portföy の投資商品を販売する独占的権利が Yapı Kredi に付与されます。

本契約について、Yapı Kredi の CEO である Gökhan Erün 氏は、この取引が銀行の長期的な成長軌道と資産運用市場におけるリーダーシップにとって重要なマイルストーンであると強調しました。

「トルコの資産運用環境において初となるこの戦略的パートナーシップは、Yapı Kredi の強固なサービスモデルと広範な販売網を、Azimut の国際的な投資専門知識と組み合わせることで、顧客に前例のない価値を提供し、当社の先駆的な市場での地位を強化するものです」と Erün 氏は述べました。

Azimut Holding の CEO である Giorgio Medda 氏は、トルコの経済的回復力を強調し、主要な金融機関にとって最高の資産運用パートナーとしての Azimut の地位を強調しました。

「この提携は、長期的な販売ネットワークに支えられた、市場をリードするトルコの銀行との2度目の主要な戦略的合併事業となります。これは、当社のグローバルな製品能力の卓越した品質と、トルコの金融エコシステムに対する深いコミットメントを強く証明するものです」と Medda 氏は指摘しました。この取引は、トルコの金融セクターの強さとダイナミズムを強化するものであり、強固な国境を越えた機関投資家の資本フローを示すとともに、国内資本市場全体における製品の多様性と資産運用能力を拡大するものです。



イスタンブール空港、1日あたりの旅行者数約29万人で欧州の史上最高記録を更新

イスタンブール空港は、1日あたり289,732人の乗客に対応し、トルコと欧州の両方において1日あたりの乗客数の史上最高記録を更新し、世界の航空業界で新たな記録を打ち立てました。

このマイルストーンは、主要な世界的航空ハブとしてのイスタンブールの戦略的地位を強化し、トルコの近代的な交通インフラの高度な能力と卓越した運営能力を実証するものです。

アブドゥルカディル・ウラルオール運輸インフラ大臣は、この記録について発表し、この成果が同国の輸送エコシステムの継続的な成長を強調するものであると述べました。

「イスタンブール空港は8月9日に289,732人の乗客を迎え、トルコおよびヨーロッパにおける史上最高の1日あたりの乗客数を再び記録しました」とウラルオール大臣は述べました。「私たちが構築した強固な輸送インフラにより、私たちはグローバル航空におけるイスタンブールの中心的な地位を強化し続けます」

この記録的なトラフィックは、国際線および国内線全体で持続する高い需要を反映しており、グローバルなトランジット、観光、物流の結節点としてのトルコの役割を浮き彫りにしています。

この成果は、イスタンブール空港が世界の主要なメガハブの一つとしての地位をさらに強固なものにし、地域の接続性、経済の勢い、そして国際的なモビリティを促進しています。



HUBX

HubX がトルコ初のアプリスタジオ・ユニコーンに

イズミルを拠点とするテクノロジー企業 HubX は、Point72 Private Investments からの初の外部資金調達ラウンドにおいて、プレマネー評価額 12 億米ドルで最大 7,500 万米ドルを調達し、トルコ初のアプリスタジオ・ユニコーンとなりました。

2022 年にイズミルで設立された HubX は、外部資金に頼ることなく、40 以上の消費者向け製品からなる収益性の高いポートフォリオを構築してきました。同社のモバイルおよびウェブアプリケーションは、190 カ国以上で 6 億人を超えるユーザーに利用されています。同社は現在、イズミルとイスタンブールのオフィスに 370 名以上の従業員を擁しています。

HubX のポートフォリオの大部分は、生成 AI、写真・動画、教育、ウェルネスに焦点を当てたアプリケーションで構成されています。同社の製品には Nova、Wiser、DaVinci、Lotus Flow などがあり、そのアプリケーションのいくつかは、さまざまな市場の各カテゴリにおいて最もダウンロードされている製品にランクインしています。

今回の新規投資は、既存製品の成長を加速させ、HubX のグローバルな M&A 活動を拡大するために使用されます。同社は、有望なモバイルおよびウェブ製品の買収に向けた取り組みを強化し、優れたユーザー体験を持つアプリケーションとそれを支えるチームを HubX エコシステムに組み入れる計画です。HubX の共同創業者であるジェム・オルタバシュ氏は、同社がアイデア段階から世界中の数億人のユーザーに製品を届けるための重要な専門知識を培ってきたと述べました。「この投資により、私たちは長年培ってきた経験をさらに一步前進させることができます。社内で強力な製品を開発し続ける一方で、ユーザーに愛される製品を生み出す成功したチームと提携し、彼らを HubX に迎え入れたいと考えています」と同氏は語りました。

Point72 Private Investments のパートナーであるイション・シンハ氏は、HubX は消費者の需要を特定し、その需要に応える製品を迅速に拡大する能力において際立っていると述べました。同氏は、同社のアプリケーションポートフォリオの強さと、そのモデルの再現性が投資の背後にある重要な要因であったと指摘しました。

HubX の共同創業者であるカーン・オルタバシュ氏は、収益性を維持しながら 4 年以内にこの規模に到達したことが、同社のビジネスモデルに対する自信を強めたと強調しました。同氏は、このパートナーシップにより HubX がより大きな世界的規模で野心的な目標を追求できるようになると述べました。

HubX がユニコーン企業の地位に達したことで、トルコの自国発ユニコーン企業である「ターコーン (Turcorn)」の数は 8 社に達しました。同国のユニコーンエコシステムには、Trendyol、Getir、Peak Games、Hepsiburada、Dream Games、Insider、Loom Games も含まれています。Loom Games は、2026 年に Scopely による過半数株式の取得を経て、10 億米ドルを超える評価額でユニコーン企業の地位に達しました。



投資・財務局がマレーシアにおける投資活動を推進

投資・財務局はマレーシアで一連の企業訪問を実施し、エネルギー、インフラ、物流セクターに焦点を当てました。

訪問中、投資・財務局の国別アドバイザーであるビラル・イルハン氏、プロジェクトマネージャーのオズカン・オズカルデシュ氏、専門家のハルン・コクサル氏は、トルコにおける新たな投資機会と潜在的なパートナーシップを模索するため、主要な投資家、ファンド、インフラ運営会社と面談しました。ロードショーの一環として、ハルン・コクサル氏は持続可能なエネルギー開発庁（SEDA）が主催する第7回国際持続可能エネルギーサミット（ISES）にパネリストとして参加し、トルコの原子力エネルギープログラムに関する知見を共有しました。

環境・都市化・気候変動省の気候変動適応・地域政策局長であるオメル・オズテュルク氏は、マレーシアを COP31 トルコへ招待するとともに、投資・財務局の支援を受けて作成されたトルコの COP31 議長国ビジョン文書を発表しました。



Delivered by:



TÜRKİYE ENERGY & INFRASTRUCTURE FORUM 2026

A forum highlighting the deals, projects, strategies, and innovations powering Türkiye's energy and infrastructure growth.

 **Swissôtel The Bosphorus Istanbul**

 **September 25, 2026**

Co-Host:



Event & Media Partners:





Istanbul Fintech Week

OCTOBER 5-7 2026 ISTANBUL, TÜRKİYE

ISTANBUL FINTECH WEEK BY NUMBERS SINCE 2019

17K+

Participants

630+

Speakers

62+

Countries

337+

Sessions

1,800+

B2B Meetings

13M+

Business Volume



Exclusively for Invest in Türkiye Network Members

Invest in Türkiye community members are invited to attend Istanbul Fintech Week 2026 with exclusive discounted access.



Request Your Promo Code

Send an email to contact@istanbulfintechweek.com to request your exclusive promo code.

- Special ticket pricing
- Priority registration
- Access to all summit stages
- Networking opportunities
- Investor & ecosystem access

One registration provides access to all summit stages.



77TH INTERNATIONAL ASTRONAUTICAL CONGRESS

ANTALYA, TÜRKİYE
5-9 OCTOBER 2026



#IAC2026



REGISTER NOW



IAC2026.ORG

The World Needs
More Space

Twitter Instagram Facebook LinkedIn YouTube NASA IAC2026

ORGANIZED BY

HOSTED BY

CO-HOSTED BY

SUPPORTED BY



Türkiye's Startup Success Story Reaches New Heights as 8th Unicorn Emerges

STARTUP	VERTICAL	HEADQUARTERS	FOUNDING YEAR	UNICORN YEAR
HUBX HubX	Aggregator, AI	Izmir/Türkiye	2022	2026
loom Loom Games	Gaming	Istanbul/Türkiye	2025	2026
dream+ Dream Games	Gaming	Istanbul/Türkiye	2019	2022
getir Getir	Grocery delivery, On demand mobile	Istanbul/Türkiye	2015	2021
INSIDER ONE Insider One	Martech, SaaS, AI	Istanbul/Türkiye	2012	2022
peak Peak	Gaming	Istanbul/Türkiye	2010	2020
trendyol Trendyol	Flash sales, Ecommerce	Istanbul/Türkiye	2010	2021
hepsiburada Hepsiburada	Ecommerce, Marketplace	Istanbul/Türkiye	1998	2021

Solar Energy YEKA 2026 Auction Specifications



Applications must be submitted to the
Ministry of Energy and Natural Resources on

October 13, 2026

900 MW

Total Installed Capacity

49 years

License Period

20 years

Purchase Guarantee

**3.25-5.50
Euro Cents/kWh**

Auction Cap-Floor
Price Range



INVEST IN TÜRKİYE



Infrastructure & PPP Industry in Türkiye



INVEST IN
TÜRKİYE

nexus
OF THE WORLD

Open the Door to Powerhouse for Investments

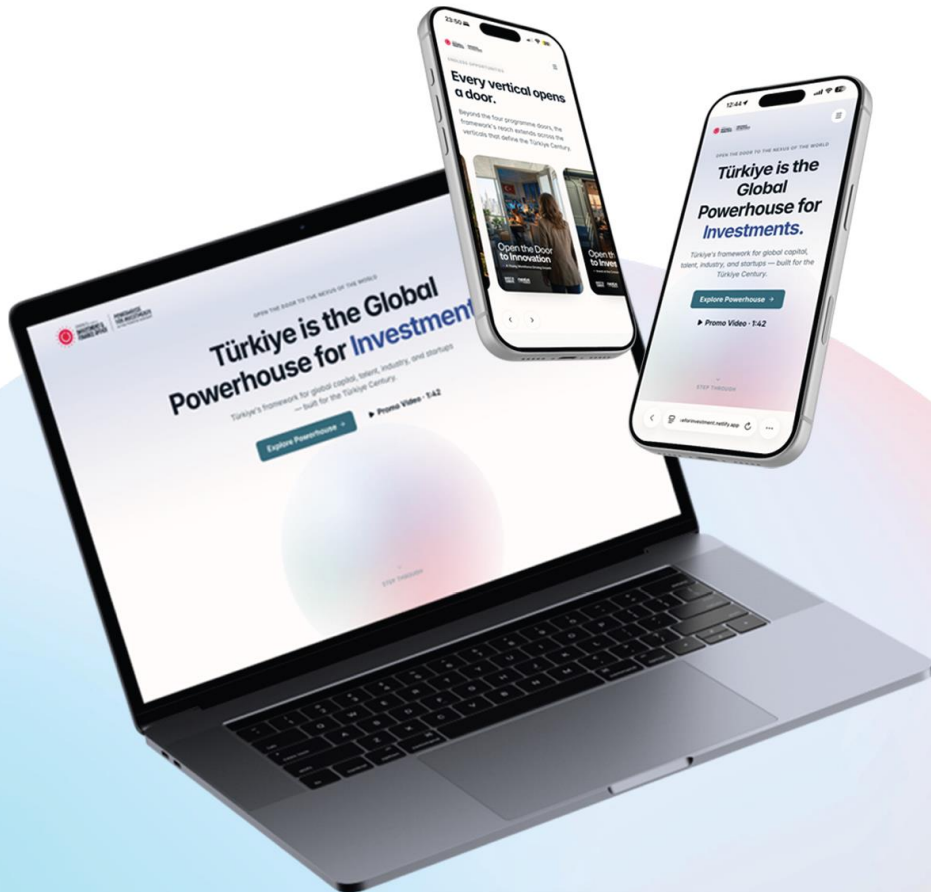
INVEST AT THE CROSSROADS
OF GLOBAL MARKETS





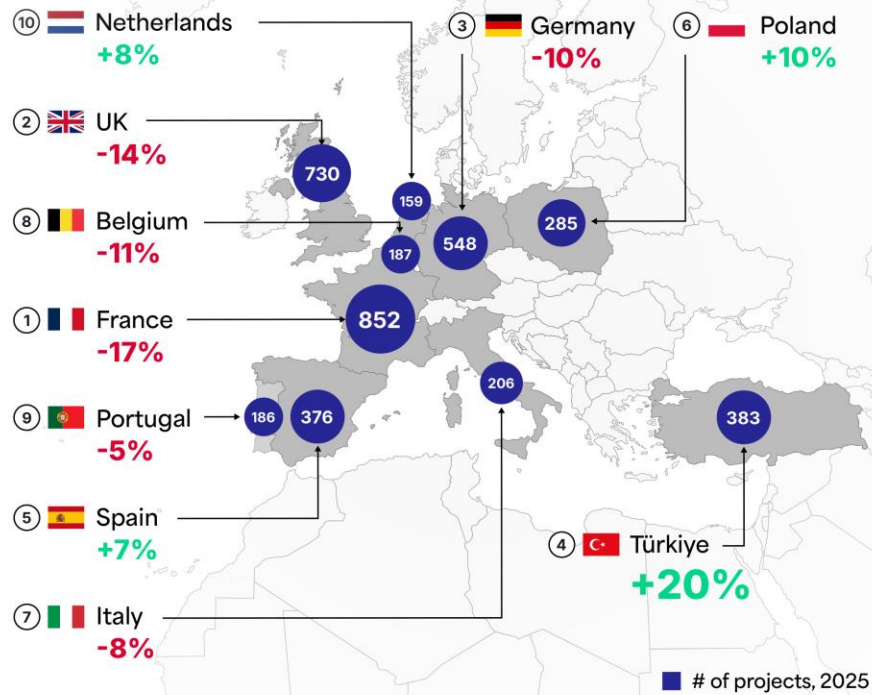
POWERHOUSE FOR INVESTMENTS IN THE TÜRKİYE CENTURY

powerhouse.gov.tr





Türkiye Ranks Among Europe's Top FDI Powerhouses



Source: EY European Investment Monitor 2026; Year-on-year percentage change in FDI projects.



Energy Sector Report 2026





Mobility Industry in Türkiye



 CLICK TO READ

Türkiye Foreign Direct Investment Strategy (2024-2028)


 CLICK TO READ

Invest in Türkiye Roadshow Booklet


 CLICK TO READ

WHY INVEST IN TÜRKİYE?



Subscribe to our newsletter to receive news and updates on Türkiye's investment environment and Investment and Finance Office's activities

 CLICK TO READ

 CLICK TO READ

Türkiye's FDI Landscape at a Glance 2025


 CLICK TO READ

Green Logistics Industry Report


 CLICK TO READ

Investment and Finance in the Türkiye Century



WHY TÜRKİYE

TÜRKİYE: HUB FOR INNOVATION AND GROWTH

Within a 4-hour flight, easy access to multiple markets of USD 32.1 trillion GDP, USD 10.3 trillion trade, and 1.3 billion people.

Booming economy reaching **1,358 billion in 2024**, up from USD 238 billion in 2002.

Over **USD 288 billion** of FDI between 2003-2025, while the total amount of FDI attracted between 1980-2002 stood at USD 15 billion.

ACCESS TO MULTIPLE MARKETS

EURASIA

GDP: \$2.8 trillion
Import: \$467 billion
Population: 244 million

MENA

GDP: \$4.4 trillion
Import: \$1.5 trillion
Population: 472 million

EUROPE

GDP: \$24.9 trillion
Import: \$8.3 trillion
Population: 595 million

TOTAL

GDP: \$32.1 trillion
Import: \$10.3 trillion
Population: 1.3 billion

Source: IMF, WTO, TurkStat 2024

REAL GDP GROWTH

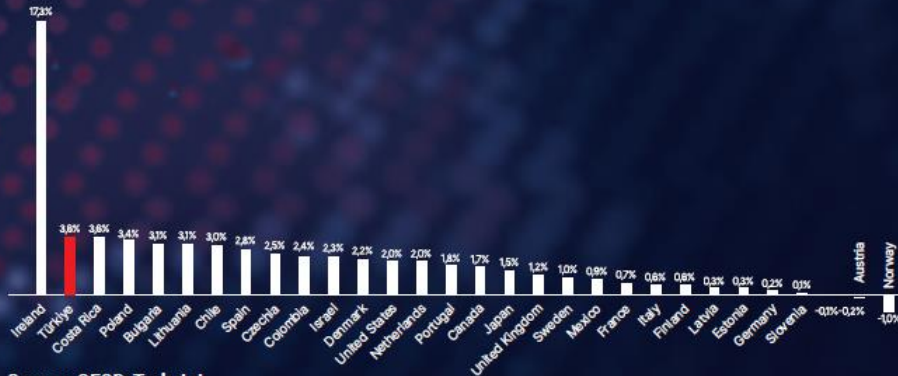
(2025-H1, year on year growth)

G20 Economies



Source: OECD, Turkstat

OECD Economies



Source: OECD, Turkstat

TÜRKİYE

was the fastest growing economy of the OECD members during 2003-2025, with an average annual growth rate of

5.3%

CUMULATIVE FDI INFLOWS TO TÜRKİYE

(USD BILLION)



Source: CBRT

- Investment incentives as well as R&D support.
- Equal treatment to national and global investors guaranteed by law.
- 7 days to set up a company in Türkiye, while it takes an average of 8,5 days in OECD high-income countries.
- (World Bank Doing Business 2020)

HIGHLIGHTS

The fastest growing economy in Europe and one of the fastest growing economies in the world with an average annual GDP growth rate of 5.3% over the past 21 years.

(2003-2024, TurkStat)

SOPHISTICATED CONSUMER BASE

**A population of 86.1 million,
half of which is under the age of 34,9.**

(2024, TurkStat)

**Largest youth population compared with
the EU.**

(2023, Eurostat)

**98.2 million fixed and mobile broadband
internet subscribers.**

(2024, Information and Communications Technologies Authority)

SKILLED AND DEDICATED LABOR FORCE

**Around 36 million young,
well-educated and motivated professionals.**

(2024, Turkstat)

**Around 960,000 students graduate annually
from 208 universities.**

(2024, CoHE)

TÜRKİYE'S INFRASTRUCTURAL DEVELOPMENT

 **USD 215 Billion**

Total value of PPP contracts in Türkiye during the 1986-2024 period.

 **272**

Total number of PPP projects completed in Türkiye during the 1986-2024 period.

 **27,797**

Total number of hospital beds under PPP projects.
18 healthcare campuses have been completed with a total number of 27,797 bed capacity.

 **58**

Number of airports in Türkiye increased from 26 in 2002 to 58 by 2024.

Who we are

Investment and Finance Office is the official organization that:

- Promotes the investment environment of Türkiye and provides assistance to investors.
- Reports directly to the President of the Republic of Türkiye.

How we help

- Multilingual (Turkish, English, German, French, Italian, Arabic, Spanish, Chinese, Japanese and Korean)
- One-Stop-Shop approach
- Result-oriented
- Private sector approach with full confidentiality
- Focusing on high-tech, value-added and employment generating investments.

What we do

- Presenting investment opportunities to the investors and providing assistance during all the stages of their investments.
- Serving as the reference point for international investors and the point of contact for all institutions engaged in promoting and attracting investments at national, regional and local levels.
- Offering free-of-charge services including market information and analyses, site selection, B2B meetings, coordination with relevant governmental institutions, and facilitating legal procedures and applications such as establishing business operations, incentive applications, obtaining licenses and work permits.

OUR GLOBAL LOCATIONS

	USA
	GERMANY
	ITALY
	SPAIN
	NETHERLANDS
	TÜRKİYE
	S. ARABIA
	UAE
	QATAR
	CHINA
	S. KOREA
	JAPAN
	UK
	SINGAPORE
	MALAYSIA

SECTORS

Agrofood
Automotive
Chemicals
Defense & Aerospace
Energy
Financial Investments & Startups
ICT
Infrastructure
Life Sciences
Machinery
Business Services
Financial Services
Mining & Metals
Real Estate
Tourism



Explore untapped investment opportunities across a variety of industries in Türkiye.

FOLLOW US



@InvestTurkey
@InvestTurkiyeAR
@InvestTR_DACH
@InvestTR_JAPAN



@InvestTurkey
@investinturkiyear
@investinturkeyDE



@invest-in-turkey
@investinturkiyear
@investtrdach



@InvestinTürkiye



@investinturkiye_en
@investinturkiye_ar



SUBSCRIBE

